



コウノトリのヒナが野外繁殖

足環装着協力に感謝状の拝受

前田建設工業株式会社 顧問 勝山 達郎



栃

木県小山市が渡良瀬遊水地内に設置した人工巣塔において、今年の六月、一九七一年に国内野生コウノトリが絶滅し二〇〇五年に兵庫県での野生復帰開始以降、東日本で初となる野外繁殖のコウノトリのヒナ二羽が確認されました。(上写真：テレビ小山)七月二十六日の日曜日、コウノトリ交流館にて、「コウノトリの命名式」が小山市主催で開催されました。当社がヒナ二羽の足環の装着のために高所作業車を提供したことから、その式において、農林水産省農業土木技官の大先輩である小山市の大久保寿夫市長より、当社与良川作業所長の落合秀和が感謝状を拝受しました。

●小山市のコウノトリ野生復帰

栃木県小山市は、二〇一二年七月にラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地における「小山市の進める賢明な活用三本柱」の一つとして、「コウノトリ・トキの野生復帰」を掲げ、その一環として二〇一八年二月に渡良瀬遊水地第二調節

池内にコウノトリ人工巣塔を設置しました。

さらに、コウノトリの餌となる多様な生きものが生息できるように、第二の柱として「環境にやさしい農業を中心とした地場産業」も推進し、周辺水田において、地元農家の



協力による「ふゆみずたんぼ」や減農薬・減化学肥料の特別栽培米「生井っ子」の栽培、「水田魚道」の設置にも取り組んでいます。毎年、当社施工の排水機場の隣接水田での『たんぼアート』(右写真：小山市提供)も、多くの方が参加して開催されています。

●コウノトリの結婚からヒナ誕生へ

千葉県野田市が放鳥し二〇一八年二月十七日に人工巣塔へ定住したコウノトリ「愛称…ひかる(オス四歳)」と、徳島県鳴門市で生育し二〇二〇年三月十一日に定住したコウノトリ「愛称…歌(メス・二歳)」は、三月二十二日に夫婦となりました。四月二十七日以降、二羽が交代で巣にしゃが

み込み、抱卵している様子が観察され、六月六日に、ヒナの姿が確認されました。コウノトリの成熟には三年を要するのが一般的で、二歳のメスによる産卵がふ化に至ったのは、本邦初で、鳥類学的に貴重な事例と考えられています。

渡良瀬遊水地は、栃木県小山市の南西端に位置し、小山市のほか、栃木県栃木市・野木町、群馬県板倉町、埼玉県加須市、茨城県古河市の四県四市二町にまたがり、利根川治水の要として面積約三、三〇〇haの日本最大の遊水地です。二〇一二年七月三日に、国際的に重要な湿地として、ラムサール条約湿地に登録されました。

● 大久保市長の情熱と行動力

新型コロナウイルスで県外移動が許された六月十九日に、久しぶりに与良川排水機場の現場で、大久保市長とお会いしました。その際に、長年の念願であった『国営事業による与良川統合排水機場建設の実現』への行動力、『渡良瀬遊水地でのコウノトリの野生復帰』への熱意、そしてヒナ誕生への一言で表せないほどの感激をお聞きし、あらためて大久保市長の小山市発展への情熱に感激しました。人工巢塔のヒナを観察できる渡良瀬遊水地堤防の『生井桜つつみ』では、ヒナ誕生の看板（右下写真）が掲げられ、多くのカメラマンやテレビ局のビデオカメラが構え、野鳥愛好家や世話をする



ボランティアなど多くの人がおり、関心の高さを感じました。

● 感謝状拝受と排水機場建設工事

七月十二日、ふ化の推定日から四四日目を迎えたヒナ二羽に、専門の飼育員や獣医師らにより個体を識別する足環を取り付けることになりました。

当社は、人工巢塔から約六〇〇m離れた渡良瀬遊水地堤防外で、農林水産省関東農政局栃木南部農業水利事業所発注の与良川統合排水機場建設工事を施工しており、小山市からの依頼により地域貢献の一環として足環装着に協力しました。本

与良川統合排水機場建設工事概要

事業所名：栃木南部農業水利事業所
 工事名：与良川統合排水機場建設工事
 工期：令和元年10月1日～令和6年3月4日
 工事内容：機場上下部工、吸込・吐出水槽、東西連絡サイホン、遊水池工他

工事は、与良川第一排水機場と同第二排水機場を廃止し、渡良瀬遊水地へ強制排水する与良川統合排水機場を新設するものです。同国営事業は、近年では二〇一五年九月の「関東・東北豪雨」や二〇一九年十月の「令和元年東日本台風」等で洪水被害が発生した思川西側に広がる低平農業地域の排水改良に資するものです。

当日は、梅雨の時期でしたが、晴天に恵まれ、高さ一三メートルの塔の上にある巢から、当社が準備した高所作業車を使い、ヒナを地上に降ろし、体重を測り、血液と羽毛などの検体を採取したあと、足環を取り付けて巣に戻し、無事終了しました。その様子は、夜六時台のNHKニュースで放映されました。当社与良川作業所の落合所長によると、全国からも注目され、慣れない作業であり、大変緊張したとのことでした。

命名式（左写真）では、一〇〇〇件を超える全国の応募の中から、二羽のヒナは「メス・ゆう」と「オス・わたる」との愛称が決まりました。感謝状の授与、大久保市長（七月三十日退任）に心から感謝を申し上げます。

